

新人生のみなさん、ご入学おめでとうございます！

アンコンシャス・バイアス研修 (e-Learning)を受講してください

みなさんは、アンコンシャス・バイアス (Unconscious Bias) について知っていますか？これは、脳の無意識レベルに存在するもので、誰にでもあると考えられており、自覚しにくいことが特徴です。

大阪大学では、様々な差別や偏見をなくすため、アンコンシャス・バイアスについて理解を深める研修の受講を必須としています。



大学院新人生：下の方法でe-Learningを受講してください <必須！>

※学部生ですでに受講済の場合を除く

(2026年9月末までに未受講の方へは、所属研究科を通じて督促させていただきます)

学部新人生：e-Learningの一部を4/3・4/4開講の全学必修講義「大学生活環境論」で取り上げます。もっと深く知りたい方は、e-Learningも受講してください！



e-Learningへのアクセス方法はこちら！
(研修はマイハンダイに掲載されています)

①右記QRコードより、「【全学生対象】

令和8年度アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）
研修の実施について」にアクセス

※大阪大学個人IDとパスワードが必要です。

②資料学習後、「受講後アンケート」に回答

※ 受講後アンケートに回答しなければ、受講完了となりません。



【How to Access the Unconscious Bias Training Page】

①Scan the QR code in the upper right corner to access the "[For All Students] Unconscious Bias Training for FY2026" page.

※You will need your UOsaka Personal ID and PW to enter the website.

②After the training, please fill out the "Post-training Questionnaire".

※The course will not be complete without finishing the post-training questionnaire.

次のページで例題を掲載していますので、ぜひチャレンジしてみてください！

例：ある研究室での会話

★Aさんは 50 代の教授、Bさんは学生、Cさんは20代の助教です。

教授A 「レポートを読ませてもらったのだけど、Bさんは、文系女子なのに、論理的ですごいですね。」

学生B 「ありがとうございます。」

教授A 「それはそうと、Cさん、今度、ハラスメント委員をお願いできますか？ハラスメント委員は、うちの研究室では細やかな心遣いができる女性に頼むことになっているから。」

あなたは、いくつ不適切な発言をみつけることができますか？

文系女子は論理的でないという思い込みと一般化にもとづく発言がみられます。

これは、性別や年齢と特定の職業や地位を結びつけるステレオタイプ「メスや」「シエンダー・人種・年齢」などの属性を無意識に「能力」に結び付けるパワースタイルと呼ばれるアンコンシャスバイアスがあるからだと考えられます。

「女子なのに数学ができる」といった発言も同様に、一見相手を励まし、褒めるようにみえて、実際には褒められた相手を萎縮させることがわかっています。これは、一種のアンプログレスシブです。

アンプログレスシブとは、特定の集団に対して、偏見が伝わるような日常の言動（言語・非言語）です。例として、「（男女に対して）【女子力】高いよね」「（男性に）彼女いる？」等の言動があります。

女性には心遣いができるというのも過剰な一般化バイアスです。

バイアスの解説

他にも…

女性に理系の進路は
向いていない



組織のリーダーは
男性の方が向いている

これらも身近に潜むアンコンシャス・バイアスの一例です。

e-Learningを受講して、更に理解を深めましょう！

内閣府が作成している、以下のページも参考にしてみてください。

<https://www.gov-online.go.jp/tokusyu/unconsciousbias/#check>

https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2024/202406/202406_05.html